

各 位

## 当社 久保会長アフリカ歴訪について

当社 久保会長は、1月8日から14日まで、港湾関連インフラシステム輸出を準備する経済界の代表として、安倍総理のコートジボワール、モザンビーク、エチオピアへの訪問に同行し、拡大首脳会議への参加、投資セミナーに於けるプレゼンテーション、港湾関係者との協議等を行いました。

各国での活動概況は以下の通りです。

## 【コートジボワール】

## 1. アビジャン自治港表敬、視察

- 三原朝彦衆議院議員、国土交通省幹部とともに、アビジャン自治港総裁 (Hien Yacouba SIE) と意見交換、港内視察。
- アビジャン港総裁は、穀物ターミナル、コンテナターミナル等の投資を進める予定であり、日本政府の無償資金協力、民間が参画するBOT, PPP等による支援を期待する旨の発言。
- 久保会長は、新コンテナターミナルの規模、完成時期、運営方法等、質問と意見交換等。
- 狭隘かつ水深が不足するターミナルでの穀物等、バルク貨物の取扱状況等を視察し、バルク貨物に対応したターミナル拡張事業の緊急性を確認。

## 2. アフリカ開発銀行主催レセプション出席

アフリカ開発銀行は本年、本部がアビジャンに戻る為、コートジボワールの復興支援キープレーヤーの役割への期待に応える事を表明。

## 3. 大統領府にて拡大首脳会議に出席

## 4. アラサン・ウワタラ大統領主催晩餐会に出席

## 【モザンビーク】

## 1. 日本・モザンビーク投資フォーラム

## ●オープニング・セッション

安倍総理から、今後5年間の包括的な支援と、港湾等のインフラ整備や教育の支援を強化する旨発言。

アルマンド・エミリオ・ゲブーザ大統領は、日本からの投資を歓迎する旨発言。

## ●セッション1：資源・エネルギー関連投資の展開と今後の課題

モザンビーク政府からの発表に続き、4名の日本側経済ミッション代表者から発表。

## ●セッション2：モザンビークのポテンシャルと包括的な開発—今後の課題

モザンビーク政府からの発表に続き、5名の日本側経済ミッション代表者から発表。

久保会長は日本の港湾の役割紹介、当社のコンテナターミナルの説明と海外進出の紹介等のプレゼンテーションを行った。プレゼンでは一部即興でウィットに富んだ内容を盛り

込み聴衆の笑いを誘い、それ以後、晚餐会場、ホテル等で「Mr.Kubo!」と大勢の方から握手を求められ歓談。

- 大統領主催晚餐会出席（大統領府）

【エチオピア】

- ハイレマリヤム・デサレン首相主催晚餐会に出席（大統領宮殿）



安倍総理に同行する久保会長



日本・モザンビーク投資フォーラムにてプレゼンを行う久保会長

以上